いちよしファンドラップ専用投資信託
内外株式

追加型投信／内外／株式

交付運用報告書

第10期（決算日2024年11月18日）

作成対象期間（2023年11月17日～2024年11月18日）

第10期末（2024年11月18日）	
基準価額	19,450円
純資産総額	116,247百万円
第10期	
騰落率	18.4%
分配金（税込み）合計	0円

（注）騰落率は分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第２位を四捨五入して表示しております。
（注）純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○当ファンドは、投資信託約款において、運用報告書（全体版）に記載すべき事項を電磁的方法により提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、下記の方法により閲覧・ダウンロードいただけます。

○運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社へお問い合わせください。

＜運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法＞
右記のホームページの「投資信託」を選択いただき、当ファンドの「運用報告書」を選択いただくと、閲覧およびダウンロードすることができます。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、「いちよしファンドラップ専用投資信託内外株式」は、このたび2024年11月18日に第10期の決算を行いました。

当ファンドは、内外の株式を実質的な投資対象とする投資信託証券に投資を行い、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行ってまいりました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

いちよしアセットマネジメント

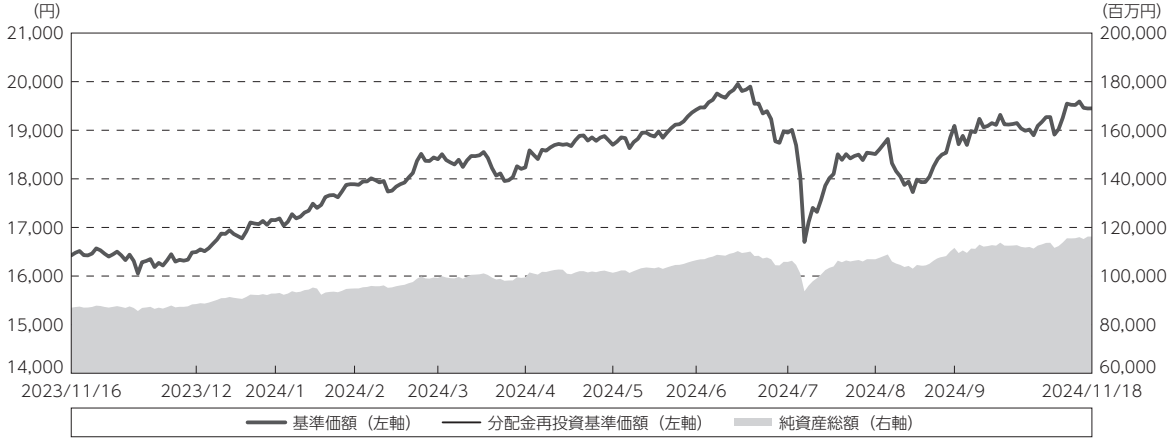
東京都中央区日本橋茅場町一丁目５番８号

＜照会先＞
電話番号：03-6670-6711
（委託会社の営業日の午前９時～午後５時まで）
ホームページ：https://www.ichiyoshiam.jp/

運用経過

期中の基準価額等の推移

（2023年11月17日～2024年11月18日）



期　首：16,425円
期　末：19,450円（既払分配金（税込み）：0円）
騰落率：　18.4%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
（注）分配金再投資基準価額は、期首（2023年11月16日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
（注）上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の推移

前期末16,425円の基準価額は当期末に19,450円となり、当期の騰落率は＋18.4%となりました。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、内外の株式を実質的な投資対象とする投資信託証券に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行っております。期中における基準価額の主な変動要因である組入投資信託証券の騰落率は下表のとおりです。

・組入投資信託の状況

組入投資信託証券	投資対象資産	前期末組入比率	当期末組入比率	前期末との差	当期中の騰落率
ノムラFOFs用インデックスファンド・TOPIX（適格機関投資家専用）	国内大型株式	11.9%	12.8%	＋0.9%	＋16.6%
日本バリュー・グロース株式ファンド（適格機関投資家向け）	国内大型株式	12.0%	12.8%	＋0.8%	＋15.6%
スパークス・日本株ファンド・双剣W（適格機関投資家専用）	国内大型株式	14.5%	7.8%	－6.7%	＋4.0%
SMDAM・中小型株企業価値フォーカス・ファンドFOF s用（適格機関投資家専用）	国内中小型株式	12.2%	14.9%	＋2.7%	＋13.4%
いちよし日本中小型株ファンド（適格機関投資家専用）	国内中小型株式	5.3%	6.5%	＋1.2%	＋13.6%
ノムラFOFs用インデックスファンド・外国株式（適格機関投資家専用）	海外先進国株式	7.6%	9.6%	＋2.0%	＋34.3%
外国株計量運用ポートフォリオ（少人数私募）	海外先進国株式	15.6%	15.1%	－0.5%	＋39.8%
ノムラFOFs 用 ACI 米国バリュー・ファンド（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）	海外先進国株式	3.5%	3.5%	－0.0%	＋12.8%
ブラックロック米国小型成長株式オープン Aコース（為替ヘッジなし）	海外先進国株式	1.0%	1.0%	－0.1%	＋36.4%
ノムラFOFs用インデックスファンド・新興国株式（適格機関投資家専用）	新興国株式	3.9%	3.9%	－0.1%	＋19.7%
アライアンス・バーンスタイン・エマージング成長株ファンド（適格機関投資家専用）	新興国株式	1.0%	1.0%	－0.0%	＋18.0%
シュローダー・グローバル・エマージング株式ファンドF（適格機関投資家専用）	新興国株式	10.4%	10.2%	－0.2%	＋18.9%

1万口当たりの費用明細

（2023年11月17日～2024年11月18日）

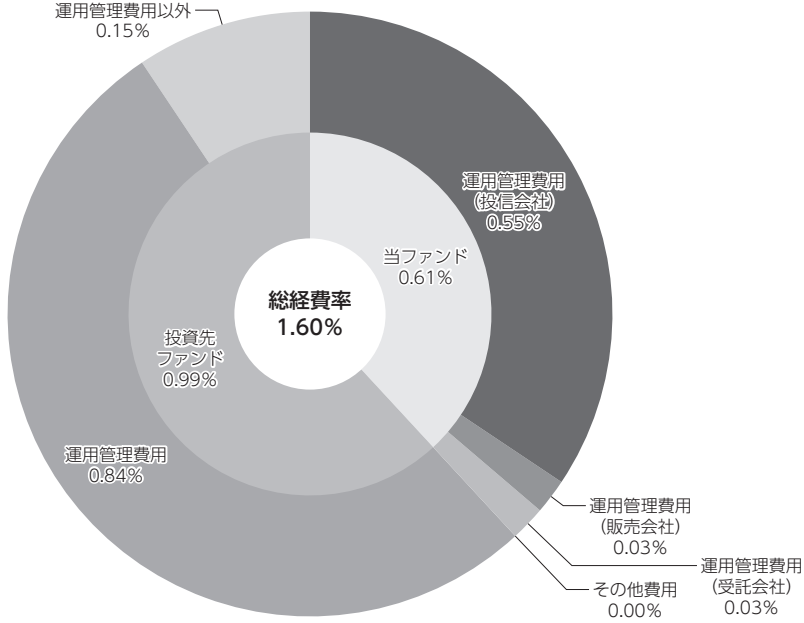
項目	当期 金額	当期 比率	項目の概要
	円	%	
(a) 信託報酬	113	0.619	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（投信会社）	(101)	(0.553)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(6)	(0.033)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(6)	(0.033)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	1	0.005	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（監査費用）	(0)	(0.002)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（印刷）	(1)	(0.003)	法定開示資料の印刷に係る費用
（管理・運営費用）	(0)	(0.000)	法定書類の提出に係る費用
合計	114	0.624	
期中の平均基準価額は、18,209円です。			

（注）期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
（注）各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
（注）各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。
（注）当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。
（注）各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

◯総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.60％です。



（単位：％）

総経費率（①＋②＋③）	**1.60**
①当ファンドの費用の比率	0.61
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.84
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.15

（注）当ファンドの費用は１万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
（注）各比率は、年率換算した値です。
（注）投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券（親投資信託を除く。）です。
（注）当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
（注）当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。
（注）投資先ファンドの一部については、運用管理費用以外の費用が含まれていない場合があります。
（注）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近５年間の基準価額等の推移

（2019年11月18日～2024年11月18日）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
（注）分配金再投資基準価額は、2019年11月18日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2019年11月18日 決算日	2020年11月16日 決算日	2021年11月16日 決算日	2022年11月16日 決算日	2023年11月16日 決算日	2024年11月18日 決算日
基準価額　(円)	11,710	12,408	15,194	14,311	16,425	19,450
期間分配金合計(税込み)　(円)	－	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率　(%)	－	6.0	22.5	△ 5.8	14.8	18.4
純資産総額　(百万円)	42,534	52,483	70,386	73,638	86,969	116,247

（注）上記騰落率は、小数点以下第２位を四捨五入して表示しております。
（注）純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
（注）騰落率は１年前の決算応当日との比較です。
（注）当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

投資環境

（2023年11月17日～2024年11月18日）

○国内株式市場

当期の国内株式市場は、TOPIX（配当込み）で＋16.3％となりました。

イスラム組織ハマスとイスラエルとの衝突により地政学的リスクが高まりましたが、米連邦準備制度理事会（FRB）の追加利上げ観測が後退し、インフレ鈍化基調などから内外の長期金利が低下傾向となり、国内株式市場は上昇基調で推移しました。期の後半に、日銀の利上げ、米景気後退懸念の高まりなどから下落した局面もありましたが、米景気の底堅さやFRBの利下げ示唆などから反発し、衆院選で与党が過半数割れとなった後も、市場に配慮した政策への期待が高まったことなどから上昇傾向となりました。

○海外先進国株式市場

当期の海外先進国株式市場は、MSCIコクサイ株式指数（ドル建て、配当込み）で＋28.6％となりました。

国内株式市場と同様に総じて強い動きとなり、日銀の利上げ局面でも下落幅は限定的で、米景気の底堅さなどを背景に上昇基調で推移しました。期末には、米大統領選挙でのトランプ氏の勝利や上下院における共和党支配の可能性が高まる中で、上昇幅を拡大しました。

○新興国株式市場

当期の新興国株式市場は、MSCI新興国株式指数（ドル建て、配当込み）で＋14.2％となりました。

米景気の底堅さなどを背景に、先進国株式市場と同様に上昇基調で推移しましたが、期末にかけて、ドル高や中国における財政出動の具体策を巡る不透明感などから上昇幅を縮小しました。

○外国為替市場

当期におけるドル円は1.9％の円安ドル高、ユーロ円は0.9％の円高ユーロ安となりました。

期首は、米欧の利下げ観測の動向や日銀の金融政策正常化を巡る思惑などからレンジでの推移となりましたが、能登半島地震以降、日銀の金融政策正常化観測が後退し、米景気の底堅さやインフレ懸念の再燃などから米長期金利が上昇傾向となり、ドル、ユーロともに円安基調となりました。期の後半に、日銀の金融政策正常化観測の高まりと利上げ決定などから円高に転換し、その後、日銀が追加利上げを急がない姿勢を示したことなどから、もみ合いとなりました。

組入投資信託のうち海外資産に投資しているファンドについては、ドルがプラスに、ユーロがマイナスに寄与しています。

当ファンドのポートフォリオ

（2023年11月17日～2024年11月18日）

○指定投資信託証券（投資対象ファンド）の見直し

当期中における指定投資信託証券（投資対象ファンド）の見直しは行いませんでした。

○投資対象ファンドへの投資の状況

・指定投資信託証券の組入比率は、原則として高位を維持しました。期末時点では、前掲「組入投資信託の状況」の投資比率となっています。
・効率的な運用を行うために、市況動向、対象銘柄の運用能力評価、投資効果分析等を踏まえ、適宜投資比率の見直しを行いました。
・過度なリスクを抑えながら長期的かつ安定的な運用を行うため、特定の銘柄への投資比率が過度に偏らないよう、適宜調整を行いました。

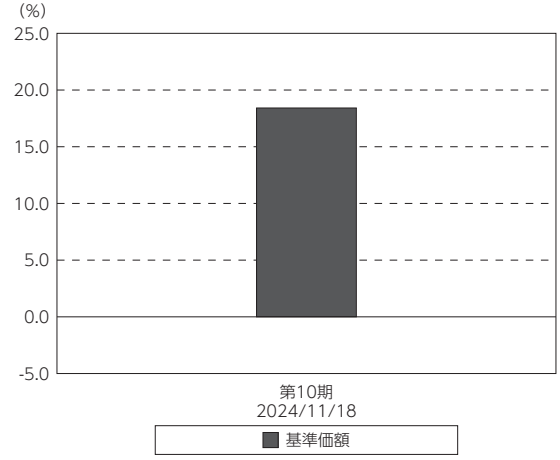
当ファンドのベンチマークとの差異

（2023年11月17日～2024年11月18日）

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

右記のグラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。

基準価額（期別騰落率）



（注）基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

分配金

（2023年11月17日～2024年11月18日）

基準価額水準、市況動向等を勘案し、当期の分配を見送りといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり・税込み）

項　　目	第10期 2023年11月17日～ 2024年11月18日
当期分配金	－
（対基準価額比率）	－％
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	10,005

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

引き続き、主として、内外の株式を実質的な投資対象とする投資信託証券に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指し、以下の原則に基づいて運用を行います。なお、資産配分については、いちよし証券株式会社の助言を受けたうえで決定します。

・指定投資信託証券の組入比率は、原則として高位を維持します。
・効率的な運用を行うために、市況動向、対象銘柄の運用能力評価、投資効果分析等を踏まえ、適宜投資比率の見直しを行います。
・過度なリスクを抑えながら長期的かつ安定的な運用を行うため、特定の銘柄への投資比率が過度に偏らないよう、適宜調整を行っていきます。

投資対象とする投資信託証券については、収益機会の追求やリスクの分散などを目的として適宜見直しを行います。この際、定性評価や定量評価などを勘案のうえ、投資信託証券を新たに指定し、又は既に指定されていた投資信託証券を除外する場合があります。

お知らせ

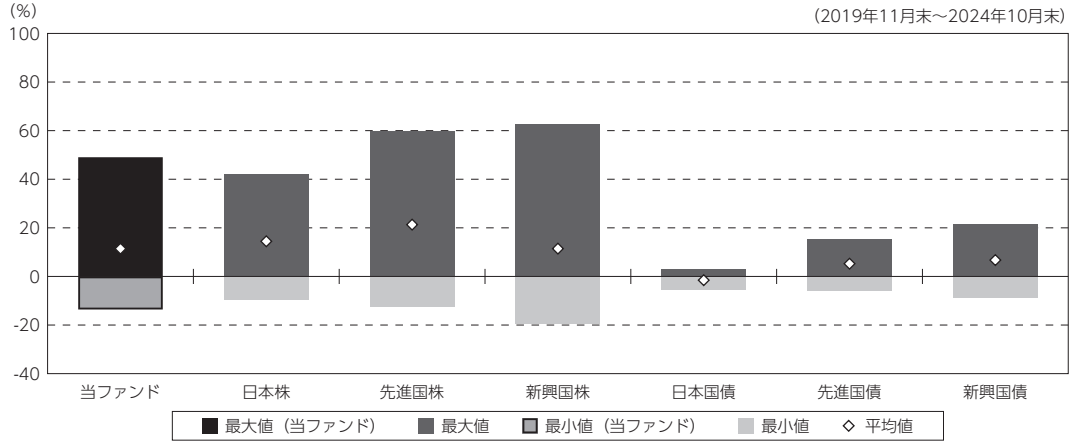
該当事項はございません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／株式
信託期間	2015年2月27日から原則無期限です。
運用方針	複数のファンドに分散投資を行う、ファンド・オブ・ファンズ方式により、信託財産の中長期的な成長を目標に運用を行います。
主要投資対象	内外の株式を実質的な投資対象とする投資信託証券を主要投資対象とします。
運用方法	①主として、内外の株式を実質的な投資対象とする投資信託証券に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指します。 ②投資信託証券の組入比率は、原則として高位を維持しますが、景気動向や市況動向を勘案して低位になることがあります。 ③資産配分および投資対象とする投資信託証券の組入れについて、いちよし証券株式会社の投資助言を受けます。 ④投資対象とする投資信託証券については、収益機会の追求やリスクの分散等を目的として適宜見直しを行います。この際、定性評価や定量評価等を勘案のうえ、新たに投資信託証券を指定したり、既に指定されていた投資信託証券を外したりする場合があります。 ⑤内外のETF（上場投資信託）に投資する場合があります。 ⑥市況動向や当ファンドの資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。
分配方針	毎年11月16日（休日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として以下の方針に基づき収益分配を行います。 ●分配対象額の範囲は、経費等控除後の繰越分を含めた配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 ●収益分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等の理由により分配を行わないことがあります。 ●留保益の運用については特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

（参考情報）

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



（単位：%）

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	49.1	42.1	59.8	62.7	2.9	15.3	21.5
最小値	△ 13.6	△ 9.5	△ 12.4	△ 19.4	△ 5.5	△ 6.1	△ 8.8
平均値	11.4	14.5	21.3	11.4	△ 1.5	5.2	6.7

（注）全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
（注）2019年11月から2024年10月の５年間の各月末における直近１年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。
（注）上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。
（注）当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》
日 本 株：東証株価指数（TOPIX、配当込み）
先進国株：MSCI － KOKUSAIインデックス（配当込み、円ベース）
新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）
日本国債：NOMURA － BPI国債
先進国債：FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）
新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケッツ・グローバル・ディバーシファイド(円ベース)

※各指数についての説明は、後述の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

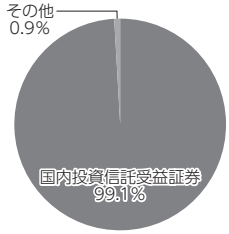
(2024年11月18日現在)

○組入上位ファンド

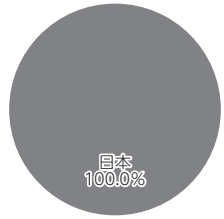
銘　　柄　　名	第10期末
	%
外国株計量運用ポートフォリオ(少人数私募)	15.1
SMDAM・中小型株企業価値フォーカス・ファンドFOFs用(適格機関投資家専用)	14.9
ノムラFOFs用インデックスファンド・TOPIX (適格機関投資家専用)	12.8
その他	56.2
組入銘柄数	12銘柄

(注) 比率は純資産総額に対する割合です。
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

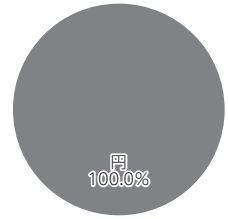
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。
(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。
(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

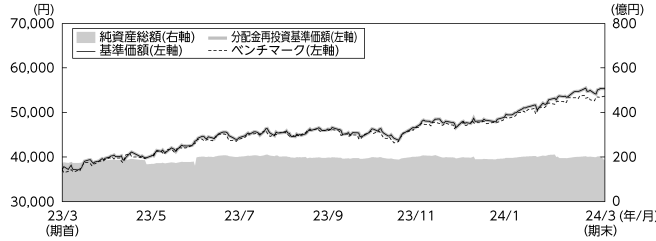
項　　目	第10期末
	2024年11月18日
純資産総額	116,247,522,328円
受益権総口数	59,767,462,133口
1万口当たり基準価額	19,450円

(注) 期中における追加設定元本額は13,582,693,199円、同解約元本額は6,764,398,605円です。

組入上位ファンドの概要

外国株計量運用ポートフォリオ（少人数私募）

【基準価額の推移】（2023年３月17日～2024年３月18日）



（注１）ベンチマークはＭＳＣＩコクサイ・インデックス（円換算ベース）です。
（注２）分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
（注３）実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。
（注４）分配金再投資基準価額、ベンチマークは、期首の基準価額を起点として指数化しています。

【１万口当たりの費用明細】

項目	当期 2023年3月17日～2024年3月18日 金額	比率	項目の概要
信託報酬	86円	0.188%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（投信会社）	（ 51）	(0.111)	ファンドの運用、受託会社への指図、基準価額の算出、運用報告書等の作成等の対価
（販売会社）	（ 5）	(0.011)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、分配金・換金代金・償還金の支払い業務等の対価
（受託会社）	（ 30）	(0.066)	ファンドの財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
売買委託手数料	14	0.032	有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（株式）	（ 14）	(0.030)	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
（先物・オプション）	（ 1）	(0.002)	
有価証券取引税	15	0.032	有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（株式）	（ 15）	(0.032)	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数
その他費用	17	0.037	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（保管費用）	（ 10）	(0.023)	海外資産等の海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡に係る費用
（監査費用）	（ 2）	(0.004)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（その他）	（ 4）	(0.010)	運用報告書等の作成・印刷に係る費用、信託事務処理等に要するその他の諸費用
合計	132	0.289	
期中の平均基準価額は45,823円です。			

（注１）期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む。）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、本ファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、本ファンドに対応するものを含みます。
（注２）金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
（注３）比率欄は「１万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。
（注４）株式には投資信託証券を含みます。

○組入上位ファンド　　（組入銘柄数：１銘柄）

ファンド名	比率
外国株計量運用ポートフォリオ・マザーファンド	100.1%

（注）組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

○資産別配分

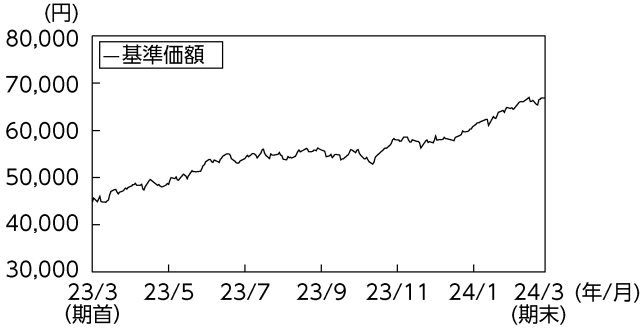
○国別配分

○通貨別配分

（注１）上記の比率は全て本ファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。
（注２）国別配分は、発行国もしくは投資国を表示しています。国・地域別による配分です。

<ご参考> 外国株計量運用ポートフォリオ・マザーファンド

○基準価額の推移について（2023年3月17日～2024年3月18日）



（注）基準価額の推移については組入れファンドの直近の計算期間のものです。

○１万口当たりの費用明細

項目	
売買委託手数料 （株式） （先物・オプション）	17円 (17) (1)
有価証券取引税 （株式）	18 (18)
その他費用 （保管費用） （その他）	17 (13) (4)
合計	52

（注１）１万口当たりの費用明細は組入れファンドの直近の計算期間のものです。
（注２）１万口当たりの費用明細は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。なお、費用項目については12ページ（１万口当たりの費用明細の項目の概要）をご参照ください。
（注３）株式には投資信託証券を含みます。

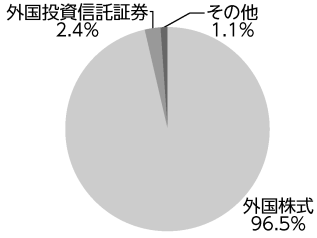
○組入上位10銘柄

（組入銘柄数：247銘柄）

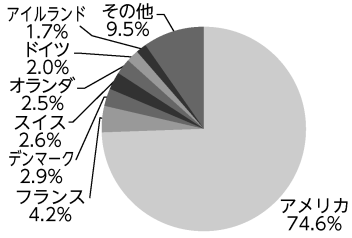
	銘柄	国	比率
1	APPLE INC	アメリカ	5.2%
2	MICROSOFT CORP	アメリカ	5.0%
3	AMAZON.COM INC	アメリカ	3.6%
4	NVIDIA CORP	アメリカ	3.2%
5	ALPHABET INC-CL C	アメリカ	2.7%
6	META PLATFORMS INC-CLASS A	アメリカ	2.0%
7	NOVO NORDISK A/S-B	デンマーク	1.9%
8	BERKSHIRE HATHAWAY INC-CL B	アメリカ	1.8%
9	ASML HOLDING NV	オランダ	1.5%
10	NETFLIX INC	アメリカ	1.4%

（注）組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

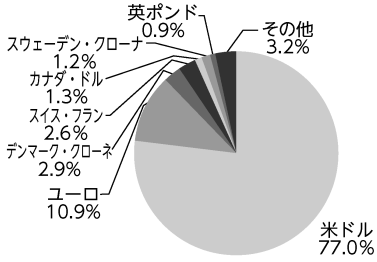
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分

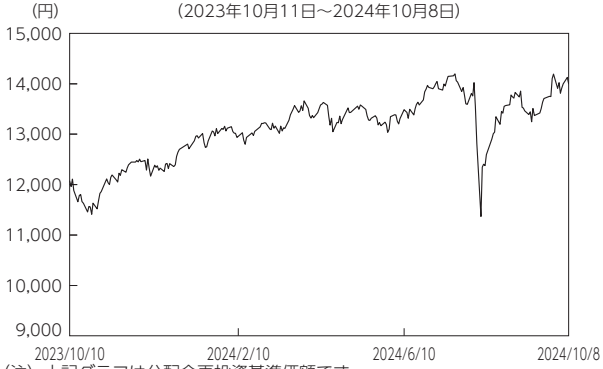


（注１）データは組入れファンドの直近の決算日時点のものです。
（注２）国別配分は、発行国もしくは投資国を表示しています。国・地域別による配分です。
（注３）上記の比率は全て組入れファンドの純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては合計が100％とならない場合があります。

＊組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）でご覧いただけます。

ＳＭＤＡＭ・中小型株企業価値フォーカス・ファンドFOF s 用（適格機関投資家専用）

【基準価額の推移】



(注) 上記グラフは分配金再投資基準価額です。

【組入上位ファンド】

銘　柄　名	第３期末
	%
中小型株マザーファンド	100.3
コールローン等、その他	-0.3
組入銘柄数	1銘柄

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

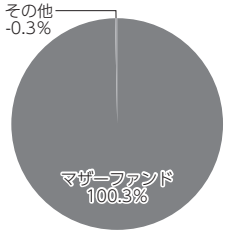
【１万口当たりの費用明細】

(2023年10月11日～2024年10月8日)

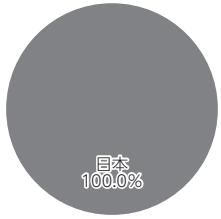
項　　目	当期 金額	当期 比率	項目の概要
	円	%	
(a) 信託報酬	86	0.656	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（投信会社）	(80)	(0.613)	ファンドの運用等の対価
（販売会社）	(3)	(0.022)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受託会社）	(3)	(0.022)	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	9	0.071	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
（株式）	(9)	(0.071)	有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) その他費用	0	0.003	(c)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（監査費用）	(0)	(0.003)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（その他）	(0)	(0.000)	信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	96	0.730	
期中の平均基準価額は、13,100円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。
(注) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
(注) 比率欄は「１万口当りのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

【資産別配分（純資産総額比）】



【国別配分（ポートフォリオ比）】



【通貨別配分（純資産総額比）】

(注) 上記の比率は全て純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。
(注) 国別配分は、原則として発行国（地域）もしくは投資国（地域）を表示しております。
(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。
(注) 組入上位ファンド、資産別配分、国別配分、通貨別配分のデータは2024年10月８日現在のものです。

＜ご参考＞ 中小型株マザーファンド

【基準価額の推移】

（2024年4月9日～2024年10月8日）

【１万口当たりの費用明細】

（2024年4月9日～2024年10月8日）

項目	当期 金額	当期 比率
	円	%
(a) 売買委託手数料	22	0.036
（株式）	(22)	(0.036)
合計	22	0.036
期中の平均基準価額は、60,760円です。		

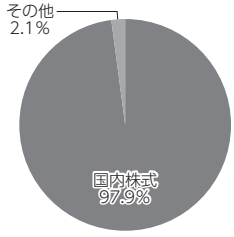
（注）上記項目の概要等詳細につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。

【組入上位10銘柄】

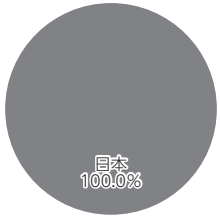
	銘柄名	業種名	比率
			%
1	グリムス	電気・ガス業	1.8
2	リログループ	サービス業	1.7
3	セーレン	繊維製品	1.6
4	トーカロ	金属製品	1.6
5	綜合警備保障	サービス業	1.5
6	オープンアップグループ	サービス業	1.5
7	デジタル・インフォメーション・テクノロジー	情報・通信業	1.5
8	アルゴグラフィックス	情報・通信業	1.5
9	ＳＷＣＣ	非鉄金属	1.5
10	メイテックグループホールディングス	サービス業	1.5
組入銘柄数		98銘柄	

（注）組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

【資産別配分（純資産総額比）】



【国別配分（ポートフォリオ比）】



【通貨別配分（純資産総額比）】

（注）上記の比率は全て純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。
（注）国別配分は、原則として発行国（地域）もしくは投資国（地域）を表示しております。
（注）その他にはコール・ローン等を含む場合があります。
（注）組入上位10銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分のデータは2024年10月８日現在のものです。

ノムラFOFs用インデックスファンド・TOPIX（適格機関投資家専用）

【基準価額の推移】

（2023年9月7日～2024年9月6日）

（注）上記グラフは分配金再投資基準価額です。

【１万口当たりの費用明細】

（2023年９月７日～2024年９月６日）

項目	当期 金額	当期 比率
	円	%
(a) 信託報酬	71	0.341
（投信会社）	(52)	(0.253)
（販売会社）	(11)	(0.055)
（受託会社）	(7)	(0.033)
(b) 売買委託手数料	0	0.001
（株式）	(0)	(0.000)
（先物・オプション）	(0)	(0.001)
(c) その他費用	1	0.003
（監査費用）	(1)	(0.003)
合計	72	0.345
期中の平均基準価額は、20,711円です。		

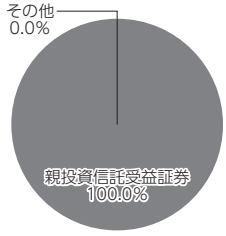
（注）上記項目の概要等詳細につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。

【組入上位ファンド】

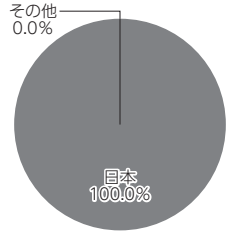
銘柄名	第10期末
	%
国内株式マザーファンド	100.0
組入銘柄数	1銘柄

（注）組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

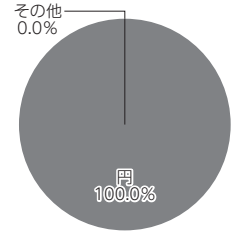
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】

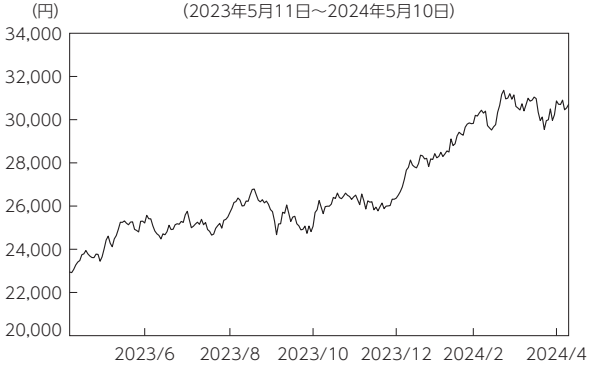


（注）上記の比率は全て純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。
（注）国別配分は、原則として発行国（地域）もしくは投資国（地域）を表示しております。
（注）その他にはコール・ローン等を含む場合があります。
（注）組入上位ファンド、資産別配分、国別配分、通貨別配分のデータは2024年９月６日現在のものです。

<ご参考> 国内株式マザーファンド

【基準価額の推移】

(2023年5月11日～2024年5月10日)



【１万口当たりの費用明細】

(2023年5月11日～2024年5月10日)

項目	当期 金額	当期 比率
	円	%
(a) 売買委託手数料	0	0.001
(株式)	(0)	(0.000)
(先物・オプション)	(0)	(0.001)
合計	0	0.001
期中の平均基準価額は、26,993円です。		

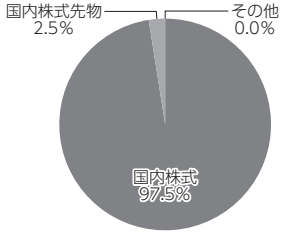
(注) 上記項目の概要等詳細につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。

【組入上位10銘柄】

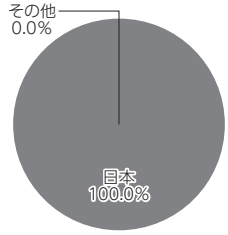
	銘柄名	業種／種別等	通貨	国(地域)	比率
					%
1	トヨタ自動車	輸送用機器	円	日本	4.8
2	TOPIX　2406	株式先物(買建)	円	日本	2.5
3	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	円	日本	2.4
4	ソニーグループ	電気機器	円	日本	2.1
5	東京エレクトロン	電気機器	円	日本	1.9
6	キーエンス	電気機器	円	日本	1.8
7	日立製作所	電気機器	円	日本	1.8
8	三菱商事	卸売業	円	日本	1.7
9	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	円	日本	1.6
10	三井物産	卸売業	円	日本	1.6
組入銘柄数		2,124銘柄			

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

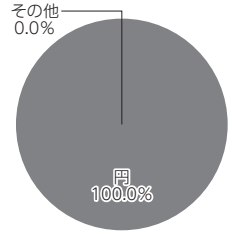
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 上記の比率は全て純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては合計が100%とならない場合があります。
(注) 国（地域）および国別配分は、原則として発行国（地域）もしくは投資国（地域）を表示しております。
(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。
(注) 組入上位10銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分のデータは2024年５月10日現在のものです。

＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

○東証株価指数（TOPIX）（配当込み）
東証株価指数（TOPIX）（配当込み）は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークとして算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社ＪＰＸ総研又は株式会社ＪＰＸ総研の関連会社に帰属します。

○MSCI － KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）
MSCI － KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）
MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○NOMURA － BPI国債
NOMURA － BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA － BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社に帰属します。

○FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）
FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケッツ・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）
JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス － エマージング・マーケッツ・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス － エマージング・マーケッツ・グローバル・ディバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。